

突撃レポート

運動部編

卓球部
 Q6最後に若高生に一言。Q6なかなか楽しい毎日を送っています。みなさん、あつ、白球をたたけのマンガもぜひ読んで下さい。

Q1-1、部の雰囲気は。A1明るい方だと思いが、真面目に練習しますと卓球の世界にのめりこみます。でも、とっても遊んでいます。

Q2部員は何人ですか。A2九人です。

Q3活動内容は。A3トレーニング、カット&ドライブ&サーブの練習、球だし、etc.....

Q4最近の戦績は。A4そんなこと私達に聞くのは失礼です。

Q5部活をしていて楽しいことはありますか。A5小さなボールを追いかけるのが私達の青春です。

文化部編

写真部
 Q1部の雰囲気は。A1明るい、おかし、いい感じ、一言で言うならば、妙です。

Q2現在の部員数は。A2約十九名です。

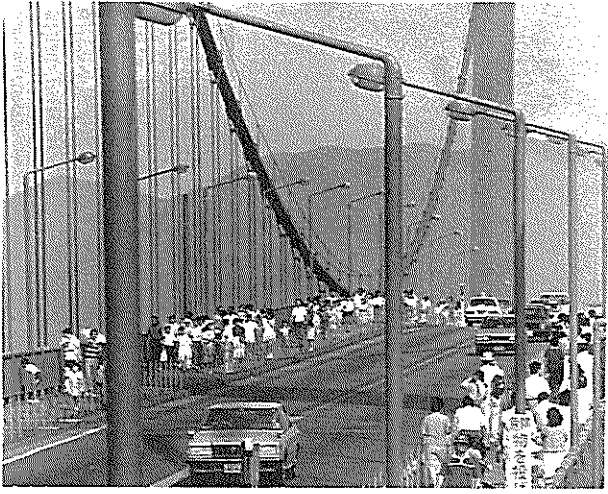
Q3活動内容について。A3入学式、文化祭、体育祭、卒業式、その他運動部の部活写真を撮っています。

Q3コンクール等はあるのですか。A3二カ月に一度位コンテストがあつていますが、その他は、別になしです。

Q4部活をしていて楽しいことは。A4温かい友情と恥知らずな心意気です。

Q5文化祭の予定は。A5今までにないことを企画中です。お楽しみに。

Q6では最後に、若高生に一言。A6男子部員がわずか三人しかいません。誰か入ませんか？明るくてギャグの言える人待っています。ここで一句、



歩道閉鎖前の若戸大橋

若戸大橋歩道閉鎖

このたび若戸大橋の歩道が閉鎖されることになりました。僕は、この橋は歩いたことがなかったの、思ったことを書きます。

まずその橋を歩いていた人の目で見ると、歩道がなくなつても渡船があるからこまる人はいないと思えます。

次にドライバーの目から見ると、車道がふえて少しはドライバーのためになつたのではないかと、この僕も思っています。

しかし、何ともあれあの橋の歩道が閉鎖された事は、いい事だと思いません。(K・Y)



女 習風景

集団宿泊研修を終えて

一学年主任 西原 功

若松高校恒例の、新一年生全員参加による集団宿泊研修は、六月十八日から三日間、今年もやはり粕屋郡篠栗町の県立社会教育総合センターで行なわれました。期間中一名の事故もなく、多大の成功裏に無事終了いたしました。ここに改めて、この学校行事に全面的に協力して下さいました父母の皆さまに対し、感謝の意を表します。

さて、六月の下旬といえは梅雨の真っ只中、関係者一同どうなることかと思ひに気をそんでいたので、一日目は、案に相違した上天気、久しぶりの快晴に恵まれて、予定通り、集団行動発表会を実施することが出来ました。

発表会そのものが、この学年独自の、いわば新機軸をうち出したものでしたが、この日の圧巻は、何といつても、その準備運動を兼ねての駆け足行進でした。

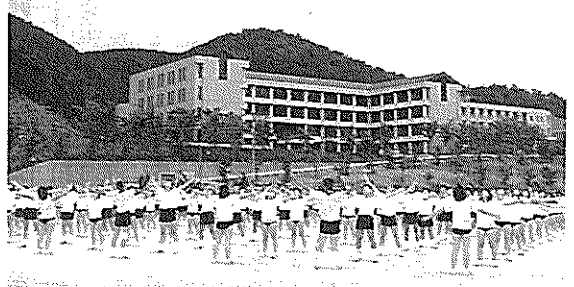
「おあしす運動」というものに学校ぐるみで取り組んでいるA校の話。おは、おはようございませぬの「お」。あは、ありがとございませぬの「あ」。

「し」は、失礼しますの「し」。

「す」は、すみませぬの「す」。

創立以来八十年近くが経過したA校は、旧制中学と女学校が一緒になってできた、地元でも屈指の宿校。数多くの秀逸な人材を社会に送り出して来た。田舎の高校らしく、校風は素朴で、教師と生徒の関係には、信頼に基づいたなごやかさがあつた。

それがここ数年で、ずいぶん変わってしまった。新設の高校が近隣に次々とでき、世間受けのするカリキ



宿 泊 研 修

この日は朝からあいにくの曇り空、おまけに午後からは雨との予報もあつた。だががむしやりに山頂を目指して、休憩予定地の若杉園に到着した頃、降り始める。記念撮影、昼食もそこそこ登山再開したが、時とともに雨脚は激しくなるばかり。山頂に達した頃には、豪雨と化して、ほとんど全員がびしょ濡れ。仕方なくそのままた下山を強行する。最後の一人がセンターに着いた時には、時計の針はとくく三時をまわっていたように思われる。

標高六百メートル足らずの山ながら、距離にすれば二十キロ以上、時間にして五、六時間はかかるこのコースを、数名の病人を除く全員が、ともかくにも踏破したということは、実にすばらしいことだと思ふ。生徒たちが日頃は見せない、ユラムと指導方針で生徒を集めた。その結果、A校を志願して受験する生徒は、定員に満たなくなつた。三百人の定員でも、二百五十人しか集まらない。学力的にも十分な基礎力を身につけていない、いわゆるレッテルをはられた生徒が大部分だつた。過去八十年間、一変して粗野で険悪なものになつてしまつた。

以前の素朴で温かな校風に慣れ、それを当然のこととして日々教壇に立っていた教師達はあわてたが、どうすることもできなかった。それが三年、A校がどう変わったか。レッテルをはるの好きな世間は、A校のためにどんな新しいレッテルをこしらへたか。皆さんの想像におまかせしたい。

行事表	経過と予定
4・6	始業式・新任式
4・7	入学式
4・8	対面式・実力考査
4・20	1学期課外開始
4・28	歓迎遠足
5・8	生徒総会
5・15	中間考査
6・18	集団宿泊研修
6・29	7・3 期末考査
7・10	若戸大会
7・14	17 保護者との懇談会
7・20	終業式
7・21	夏期課外開始
8・21	登校日
9・1	始業式
9・2	校内実力考査
9・6	文化祭
9・27	体育祭

編集後記

今回、新聞部はバニック状態に陥つてしまひ、いつものんびりな僕らはまいつてしまいました。

この新聞は夜おそくまでかかつて作つたからみんな最後まで読んでください。

吉田勝秀

初めてこの新聞を作った流した汗は一生もんだと思ひます。新聞部最高！！

川村幸子

初めてこの新聞を作ったけどいろいろ楽しかった！わい夏休みだあ、とつてもうれしー。新聞部の山田をよろしくね。

山田

今回の新聞製作は、とりかかりが遅かつたため、大変つかれた。次回からは、早めにとりかかろうと思ひます。

foolish

「平和への願い」

二年二組 今城 和江

あなたも夢と空想の世界で暮らしてみませんか？あと文化祭の企画募集中です。何かありましたら気軽に写真部までどうぞ。

核兵器のむごさを体験し、言い得ない傷を負つた被爆者にも老いの影が一段と深まっています。いま、被爆者や戦争を体験した人達がいるから一応の平和な日本があるけど、この人達がいなくなつて私達が未来を背負うようになったとき、このまま平和が続くでしょうか。

言いたい放題

「おあしす運動」というものに学校ぐるみで取り組んでいるA校の話。おは、おはようございませぬの「お」。あは、ありがとございませぬの「あ」。

「し」は、失礼しますの「し」。

「す」は、すみませぬの「す」。

創立以来八十年近くが経過したA校は、旧制中学と女学校が一緒になってできた、地元でも屈指の宿校。数多くの秀逸な人材を社会に送り出して来た。田舎の高校らしく、校風は素朴で、教師と生徒の関係には、信頼に基づいたなごやかさがあつた。

それがここ数年で、ずいぶん変わってしまった。新設の高校が近隣に次々とでき、世間受けのするカリキ